

施設箇所 佐都部隊 大作業	施設概要 要	完成時期 摘要	レガス 2F	大機動艇十隻ヲ分散秘匿 襲撃モ絶対安全ナラシム	十月末 撤退ノ英	パイレン ソルガン	海軍入江洞窟等ノ地形活用ヲ目途 敵ノ完全官道敵傷衰ヲ莫地シトス	ハカ シ	地区隊	敵機爆撃ヲ耐シテモ掩護ス	分遣隊ニ 於テ担任	下違法 要旨電話後印刷交付	大隊長 杉山中佐	配布先 佐都船司令部 ロカス ト山出張所	給水施設ヲナス	スルモノ支	報告先 81B	杉山部隊 會報	三會報	宿營地ト作業場トノ距離 数軒ヲ隔テアルニ拘ラス 畫
---------------------	-----------	------------	-----------	----------------------------	-------------	--------------	------------------------------------	---------	-----	--------------	--------------	------------------	-------------	-------------------------------	---------	-------	------------	------------	-----	---------------------------------

0766

食ノ携行スル事ナラニ時間余ラ空費シテ宿营地ニ於	テ晝食ヲ喫食スル部隊アリ嚴ニ注意ヲ要ス	尙如斯部隊ノ夜間作業ハ殆ト實施シ非ス	ニ築城ニ関シテ八日ヲ以テ第一次完成期トシタル	モ之ヲ十四日ニ改メ其ノ目標ヲ渚陣地(概ネ小隊陣地)	ニ指キ之カ骨幹ヲ完成スルコト	之カタメ左記ニヨリ實施スヘシ	ハ渚ハ概閥銃及輕機ノ火網ヲ以テ全部ヲ覆得ル如クス	ル事精ニ左第一線中隊方面ハ渚ニ自動火器ノ	陣地ヲキラ以テ速ニ少クモ概閥銃六個ヲ構築スルヲ要ス	断崖部ノ處ト雖モ船艇ヨリ飛込上陸スル處ヲ射撃ス	ル如ク構築スルヲ要ス	重銃砲隊ハ現在ニ於ケル作業ヲ可成速ニ終了シ渚	方面ニ移ルヘシ
-------------------------	---------------------	--------------------	------------------------	---------------------------	----------------	----------------	--------------------------	----------------------	---------------------------	-------------------------	------------	------------------------	---------

0767

四行
動

二 對戰車ハ障礙要矣ノ掩護中間地区ノ閉塞ハ主トシ
テ工兵隊ニ於テ步兵陣地ニ於ケル肉攻ニ伴フ對戰車障
碍ハ主トシテ步兵ニ於テ構築スヘシ然レドモ中間地区
ニ於テモ肉攻トノ協調ヲ要ス
三 各隊ハ速ニ渚陣地ノ骨幹ヲ完成スル爲中間陣地ニ
隙トルヘカラス
一 一七〇ヨリ約四十分間對戰車肉薄攻撃ノ班教練ヲ実
施ス
二 第一小隊若田軍曹以下八名上民六名ヲ以テハ三〇一
一七〇ノ間ノ陣地指揮用輕掩蔽部ノ構築並ニ小隊長以
下二名上民五名ヲ以テ第三小隊ニ協力水際戰車障
碍物構築
三 第二小隊小隊長以下二三名ヲ以テハ三〇一ハ三〇ノ間ニ
陣地輕掩蔽部座ノ構築

0768

四第三小隊小隊長以下一六名土民一五名ヲ以テハ三〇

一五〇ノ間前日ニ列續キ水際戰車壕ノ構築

五根木伍長以下一五名ヲ以テ〇七三〇一八〇ノ間ノ陣地ノ大

隊本部指揮用及有線通信所用中掩蔽部ノ構築

六二〇ノ高岡兵長以下三名通信班長ノ指揮ニ依リ步兵

三中隊二分隊下共ニ發電機調査ノタメカマリケル及リケル

附近ニ出發ス

五人員 異動ナシ一五六名(出張二名 介遣五名)

六給養 前日ニ同シ

七衛生 患者 練兵休八名 胃痛一名 マラリヤ三日熱一名

計二名發病



0769

十月十日
水曜日
二位
置
二命
令

「ロ」ガニ留ル 第二小隊「ア」ユウハンニ留ル	杉營命令第四十四號	露營命令	一、左ノ通り露營勤務ニ服務スヘシ	十月十日 日直將校 塚根中尉	十一月 中谷中尉	十一月 香川中尉	十一月 平瀬中尉	二月十日 巡察將校 工兵第三中隊ヨリ服務	十一月 歩兵第三中隊	十一月 銃砲隊	十一月 工兵第三中隊	塚作命令第四十三號
---------------------------	-----------	------	------------------	----------------	----------	----------	----------	----------------------	------------	---------	------------	-----------

0770

工兵第二中隊命令

十月十一日ハロ
ガ

一、大平洋方面ニ於テハ海戰續行セシレ敵機動部隊ノ行動極メテ活澆シテ比島上陸ハ概ラ窺ハルモノ如シ

二、中隊ハ主カヲ以テ依然水際陣地掩蔽部ノ構築作業

ニ任シ一部ヲ以テ作令第一二號ニ基キ「カスピ」

及「スウラン」ニ各一箇分隊ヲ派遣シ大發動艇「秘匿置場

ヲ構築セントス

三、第一小隊ハ主陣地ト水際陣地間ノ中間逆襲據点(右

第一線小隊後方ノ陣地)ノ輕掩蓋座ノ構築ニ任シ

タル後二十五耗機関砲ハ掩蓋構築ニ任スヘシ

細部ハ別ニ示ス完成時期ハ十月二十日迄トス

四、第二小隊(一分隊欠)ハ現在地ニ位置シ中間逆襲據

点ノ構築ニ任シタル後十五日ヨリ根木分隊ヲ合セ指

揮シ大隊本部指揮用掩蔽部ノ構築ニ任スヘシ

0771

完成時期八月二十日迄トス

五、第三小隊(二分隊欠)ハ依然水際陣地射撃車壕構

築ニ任スヘシ土民四〇ヲ附ス 細部ハ別ニ示ス

完成時期八月末日迄トス

六、横井伍長以下二名ハ本夜自動貨車ニ依リ「アルバイ

兵舎ニ至リ明十二日〇五三〇陸戰隊自動貨車ニ便乗シ

「アルバイ」ニ至リ大發動艇ノ秘匿置場ノ構築ニ任スヘシ

細部ハ別ニ示ス 給養ハ「アルバイ」ハ遣隊ニ於テ受クヘシ

完成時期八月末日迄トス

七、各軍曹以下一四名ヲ以テ明十二日自動貨車ニ依リ

「アルバイ」迄ニ「カスロ」渡泊場司令部ニ至リ大發動艇

ノ秘匿置場ノ構築ニ任スヘシ 細部ハ別ニ示ス

完成時期八月末日迄トス

八、宮村分隊八十四日夕現所屬ニ復歸スヘシ

0772

九十四日藤本少尉及三石軍曹八郎團砲兵隊淡谷大

尉ト二十五耗高射機関砲陣地選定ニ任スヘシ

十余ハ本ヲ「レカスピ」澁泊場司令部ニ至リ連絡シタル後

一泊上「レカスピ」大發動艇ノ秘匿位置ノ細部偵察並

ニ海軍飛行場ニ五耗高射機関砲諸元ヲ實施シタル後

歸隊ス

中隊長 塚根中尉

下達法各小隊命令受領者ヲ集メテ連筆記

報告先

通報先

三會報

杉山部隊會報

一明十二日黎明時敵ノ來攻ノ公算大ナリ各隊ハ警戒ヲ

一層嚴ニシ明十二日早朝起床シ大要ノ處置ニ遺憾ナ

キヲ要ス閑駱地ノ作業ハ夜間作業トシ晝間ハ特ニ遮

0773

<p>一 敵ヲ考慮シ作業ヲ實施スルモノトス</p>	<p>二 飛行機警報ハ喇叭号音ニヨリ實施シ隣接部隊ハ相互ニ喇叭ニ依リ傳達スヘシ</p>	<p>三 對空射撃ハ百米以内ニ於テ必墜ノ自信アル時ニ於テ之ヲ實施ス</p>	<p>四 既ニ各隊ニ配布ノ九三式戰車地雷ノ取扱法ヲ十分速ニ教育スヘシ</p>	<p>五 戰車地雷ノ收容箱作製ノ爲明十二日ハ七ヨリ各隊ヨリ木ニ終駁アルモノ二人ヲ鋸ニ持參ノ上「ヒガ」本道上ニ集合センメ自動貨車ニヨリ「レガスピ」留守大隊本部ニ至リ上崎軍曹ノ指示ヲ受ケシムヘシ</p>	<p>六 各隊將校以下全員自己ノ血液型ヲ記憶シ置ク</p>	<p>ト又中隊長小隊長分隊長ハ部下ノ血液型連名簿ヲ所持シ應急ノ場合速應シ得ラカ、如ク準備シ尙各自</p>
---------------------------	---	---------------------------------------	--	---	-------------------------------	--

0774

ハ務ノ左前帶紐ニ系ヲ以テ左圖ノ如ク血液型及氏名ヲ
記入シ置クコト

1面 文天

七、曩ニ配布セル大隊戰鬥指導計畫中訂正及綴込(別

紙五)別紙一部ヲ配布ス

四行 動

一、ロセロロ一ロハロノ間ヲ對戰車肉薄攻撃ノ班教練ヲ實施ス

二、第一小隊芦田軍曹以下三名土民一ロ名水牛八頭ヲ以テ

ハ三ロ一七ロノ間ヲ陣地輕掩蓋座ノ構築

三、第三小隊谷軍曹以下四名ヲ以テロハロ一ハロノ間ヲ陣


地及陣地輕掩蓋座ノ構築

四、第三小隊小隊長以下七名土民二三名ヲ以テロハ三ロ一

ハロノ間前日ニ列續キ水際戰車壕ノ構築

五、根本伍長以下三名ヲ以テロセロ一ハロノ間ヲ陣地ハ

有線通信所用中掩蔽部ノ構築

二命令	一位置	十月十五日 木曜日曇		七衛止	六給養	五人負	異動	七三〇〇	七三〇〇	六二八〇		
塚日命 第七十六號	「ロ」が「ニ」留ル 第二小隊「ロ」が「ニ」留ル				患者 練兵休 九名 急性大腸炎一名 治療	病名未詳一名 マリリヤ三日熱一名 計二名 發病	前日ニ同シ	異動「ロ」一五六名 (此張二名 分遣五名)	戰隊本部ニ出發ス	匿置場構築ノヲメ 自動偵察車ニ依リ「ロ」が「ニ」陸	七三〇〇 横井伍長以下二一名ハ「ロ」が「ニ」大發動艇秘	匿置場ニ関シ 打合せノヲメ 出發ス

0776

工兵第三中隊日々命令

十月十二日

陸軍兵長

竹林正勝

右有十三日間日直勤務ヲ命ス

三會報

杉山部隊會報

一、旅團長十月十四日ヨリ二泊三日ノ予定ヲ以テ陣地構築

ノ状況ヲ實視指導セラル、予定左ノ如シ

ハ十月十四日七時三十分カガ出發ヲウエ、マイバイ、タバコ

附近軍事施設陣地構築ヲ指導同夜ヲタバコニ一泊

十五日七時三十分出發午前大隊長以下大隊本部將

校ノ教育指導午後「カスロ」北方陣地ノ指導

ニ各中隊長、現場ニ於テ陣地ノ説明ヲ爲シ得ル如

ク準備ノコト

同夜「カスロ」ニ泊十六日七時三十分出發「カスロ」

南方陣地構築狀況ヲ實視午後「カオ」ヲ經テ「カ

0777

二 歸還ノ予定

二 大隊長明十三日午前7時バロ附近陣地構築ヲ指導ス
ス第三中隊ヨリ警乗兵長以下八名ヲ (LG/MW) 各人手榴彈携行) ヲバロ北方三ヨリ米三又路ニ待機セシメ
午後ロカスピ山南方陣地構築ヲ指導ス第一中隊小山少尉ハ同日十三時ロカスピ大隊本部ニ待機シ余ニ隨行スヘシ

三 各隊ハ層志気ヲ鼓舞スル爲作業場ヘ往復其他休憩時間等ヲ利用シ軍歌ヲ實施スヘシ

四 曩ニ交付セル諸材料ニ依リ紐付草履代用負革救助網十人十米材料不足ノ隊ハ速ニ經理室ニ連絡シ

ノ整備ノ状況ヲ速ニ報告スヘシ(草鞋ハ各人三足救助網一人十米材料不足ノ隊ハ速ニ經理室ニ連絡シ)

五 明十三日十九時第三中隊本部ノ位置ニ於テ中隊長

0778

四行 動

會議ヲ實施ス各隊長ハ同時迄ニ同時集合スヘシ

本部將校全員集合

中隊ハ八〇〇—一八〇〇ノ間陣地構築ヲ爲ス

一、第一小隊小隊長以下一九名土民二五名ヲ以テ陣地輕掩蓋座ノ構築

二、第二小隊山下伍長以下一五名ヲ以テ陣地輕掩蓋座ノ構築

三、第三小隊小隊長以下九名土民一〇名ヲ以テ前日ニ續キ水際戰車壕ノ構築

四、八〇〇谷軍曹以下一四名ヲ以テ大發動艇ノ秘匿置場ヲ構築ノタメ自動貨車ニ依リ移動ス

五、中隊長ハ午前中コレカスピリ大發動艇ノ秘匿置場ノ偵察午後砲兵隊長ト共ニ海軍陸戰隊本部ニ至リ高

射機関砲陣地構築ノタメ諸元偵察ヲナシ大日歸隊ス

六 給 養 七 衛 生	五 入 員	六 給 養 前日ニ同シ 患者 練兵休 九名 前日ニ同シ	六 根木伍長以下二名ヲ以テ陣地ノ有線通信所用 中掩蔽部ノ構築 異動ナシ一五名出張二名 分遣五名 「レカスピ」一五名 「フトラン」二名 派遣	一 位 置 「ヒガ」ニ留ル 第二小隊「フエウハン」ニ留ル 作業開始前約三十分間對戰車肉攻ノ教練ヲ実施ス 中隊ハ「ハッロ」一八「ハッロ」ノ間陣地構築ヲ爲ス	二 行 動 第一小隊小隊長以下一六名土民三名ヲ以テ陣地輕 掩蓋トシ座構築完成後陣地水際戰車壕ノ構築	十月十二日 金曜日曇
----------------	-------	-----------------------------------	--	---	---	---------------



0780

二 第二小隊小隊長以下一七名ヲ以テ陣地輕掩蓋LG座ノ構築

三 第三小隊小隊長以下九名土民九名ヲ以テ前日ニ引續キ水際戰車壕ノ構築

四 根木伍長以下二名土民三名水牛三頭ヲ以テ陣地有線通信所用中掩蔽部ノ構築

五 各軍曹以下一〇名ヲ以テ「カスピ」大發動艇秘匿置場ノ掩隠

六 「カスピ」高岡兵長以下三名發電機調査ヲ終リシ歸隊

七 畑一等兵以下二名發電機手入ノタメ「カスピ」ニ出發

八 横井伍長以下二名「カスピ」ニ於テ大發動艇秘匿置場ノ構築ニ任ス

三人員

異動ナシ一五六名(出張二名 分遣五名)
「カスピ」一五名 「カスピ」二名 派遣

0781

四給養
五衛生



十月十日
土曜日
一位置
二會報

前日ニ同シ

患者 練兵休九名 前日ニ同シ

「ピカ」ニ留ル 第二小隊「アユウハン」ニ留ル

杉山部隊會報

一 明十五日旅團長巡視順序左ノ如シ

十三時「ピカ」出發「リボ」(小學校「ト」チカ附近)「

開駱地」陣地附近「31陣地(大隊砲附近)高射機関

銃陣地附近「213工兵陣地」砲兵陣地「219砲兵陣地」

3洞窟陣地附近「ラウイス」陣地附近「山」砲兵陣地附近

二 第一中隊長工兵第三中隊長八十三時「リボ」小學校前ニ

第三中隊長工兵第二中隊長八十三時三十分開駱地入ル

道路上ニ砲兵隊長銃砲隊長ハ十二時三十分ヨリ第三

中隊宿舎前ニ集合スヘシ

三作業場ニ於ケル敬禮ハ気ヲ付ケラカケルコトヲ作業ヲ

續行シ作業場ニ在ル先任者ノ敬禮ヲ為シ作業

報告ヲ為スヘシ

四各部隊ノ衛兵ハ整列スル事ヲ司令ノ敬禮シ異

状ノ有無ヲ報告スルモノトス

五各宿舎ハ最少限ノ監視兵ヲ殘置シ主カハ作業場

ニ於テ作業セシムヘシ

六人夫ノ使用茲ニ材料運搬等ニ當リテハ必ス兵器ヲ所

持シ警戒上遺憾ナキヲ期スヘシ兵舎ノ監視兵ト雖

モ裸体ニテ下駄ヲ穿テアルガ如キ事絶無ナラシムルヲ

要ス

三行動
作業開始前約三十分間射撃車肉攻ノ教練ヲ実施ス

五給養

「トカスロ」二五名 「アノラン」二名 派遣
前日ニ同シ

六衛生

患者 練兵休八名 病名不詳一名 治療

七其他

工兵隊本部ヨリ 代用襦袢ニ五代用袴四ツヲ受領ス



十月十五日
日曜日晴

一位置

「ヒカ」ニ留ル 第二小隊「アユウハン」ニ留ル

二會報

杉山部隊會報

一 明十六日「アユウ」ヨリ「ヒカ」第三中隊宿舎ニ於テ左記

ノ通り中隊會報ヲ實施スルニ付配布要圖及ヒ大隊戰

斗指導計画ヲ持參上同時同所ニ集合スヘシ

左記

一 旅團長注意事項及ヒ大隊作戰指導計画ニ付テ

0785

三行
動

二戰車障礙物及ヒ氷際障礙物ニ関スル研究(一案ヲ持參ス)
三第三中隊轉進ニ伴ヒ部署變更ニ就テ

注意事項

最近匪賊ノ蠢動活潑化シ小分遣隊其他移動ノ自動
車部隊等敵匪ト屢々交戦シ損害ヲ受ケテリ各隊ハ
自動車ニ依ル行動ニ関シテハ特ニ警戒ヲ嚴ニシ敵匪ノ
出撃ノ考慮アル個所ハ下車行軍ニヨリ通過シ遺憾
ナキヲ期スヘシ

作業開始前十分對戰車肉次教練ヲ實施ス

中隊ハ〇八〇〇—一八〇〇ノ間陣地構築ヲ爲ス

一第一小隊小隊長以下一六名ヲ以テ陣地ニテ高射
機関砲陣地ノ掘開

二第二小隊小隊長以下二二名ヲ以テ陣地大隊本部無
線通信所用中掩蔽部ノ構築

新

昭和十九年十月二十日

戰鬥指導計畫（水際擊碎）

獨立歩兵第百十五大隊（南地區隊）



0787

戦闘指導計画（水際撃砕）

獨立歩兵第一八五大隊（南地区隊）

第一方針

- 一 大隊ハ常ニ敵奇襲的止陸ニ対応シ得ル態勢ヲ完備シテ水際ニ於テ撃砕ス
- 二 主力ヲ以テ「レガスポ」方面一部ヲ以テ「タバコ」方面ヨリ上陸スル敵ニ對シ作戰シ先少「レガスポ」上陸ノ敵ヲ撃砕ス
- 三 敵空挺隊ノ奇襲攻撃ニ對スル準備ヲ完整シ機ヲ失ヒス之ヲ殲滅ス
- 四 我航空基地ハ飽迫之ヲ確保シ敵ノ航空基地護得ヲ極力阻止ス

第二要領

- 一 別紙第一基礎配備ニ基キ現況ニ即スル態勢ヲ執リ戦備ヲ嚴ニシ直ニ敵ノ奇襲上陸ニ對處シ得ル態勢ヲ以テ築城其他ノ戦闘準備ニ努ム
- 二 對空挺部隊ノ戦闘ハ最寄部隊ノ機ニ投スル迅速ナル戦闘ハ大隊長ノ敏速ナル兵力機動ニ依リ機ヲ失ヒス之ヲ殲滅ス期ス特大隊豫備隊及各地分屯部隊ハ常ニ敵空挺ノ奇襲攻撃ニ對處シ得ル準備ニ在ラシム

三敵ノ上陸ヲ確實ニ察知セハ左ノ部隊ハ敵ト接觸シテ撤退集結ス撤退時機ハ別命スルモ通信杜絶シ且已ムヲ得サル場合ハ獨斷撤退スルコトヲ得

1. 「ラフラフ」島分遣隊「バタン」島分遣隊

（所屬中隊へ）

「レカスピ」露營地区内各衛兵

2. 「ソルソゴン」警備隊ハ「ブチヤ」分遣隊ヲ合シ「ブエーハン」大隊本部へ

「カベント」及「ブーラン」分遣隊撤退集結ハ別命ス但シ撤退セハ「ブエーハン」

大隊本部へ

3. 「サンミケル」島監視哨↓「タバコ」警備隊へ

4. 「ボランゴ」分遣隊↓「ブエーハン」大隊本部へ

5. 「ハルゴ」北方洞窟陣地構築部隊林↓「ブエーハン」大隊本部へ

各部隊ノ撤退ニ方リテハ各地航空情報無線分隊及海軍部隊等ト密連絡ス

離島分遣隊ハ常時民船「バラオ」ヲ徵用シ撤退集結ニ使用ス而シテ「ソルソゴン」

警備隊機動ヲ爲シ民間自動貨車ニテ徵用利用ス

四「レカスピ」地區戦闘指導要領別紙第二ノ如シ

五「ヲバコ」地區戰鬪指導要領別紙第三ノ如シ

六「カタシタネス」島警備隊ハ主カヲ以テ「ヒラク」附近ニ位置シ同地附近ノ陸海軍諸部隊ト密ニ連絡ヲ保持シ敵情ヲ搜索スルト共ニ敵ノ同島上陸ヲ妨害ス
敵上陸スルニ至レハ「ヒラク」港々灣施設ヲ破壊シ敵ノ利用ヲ妨害シタル後後方山地ニ後退シ游撃戰ヲ續行シテ敵情ヲ搜索ス
七水際戰鬪ニ使用スル兵カハ特ニ命令セル兵力及患者ニシテ已ムラ得サル者以外ハ全員トス

第三 其他

- 一 通信網計畫別紙第四ノ如シ
- 二 其他ニ関シテハ別ニ定ム(別冊)

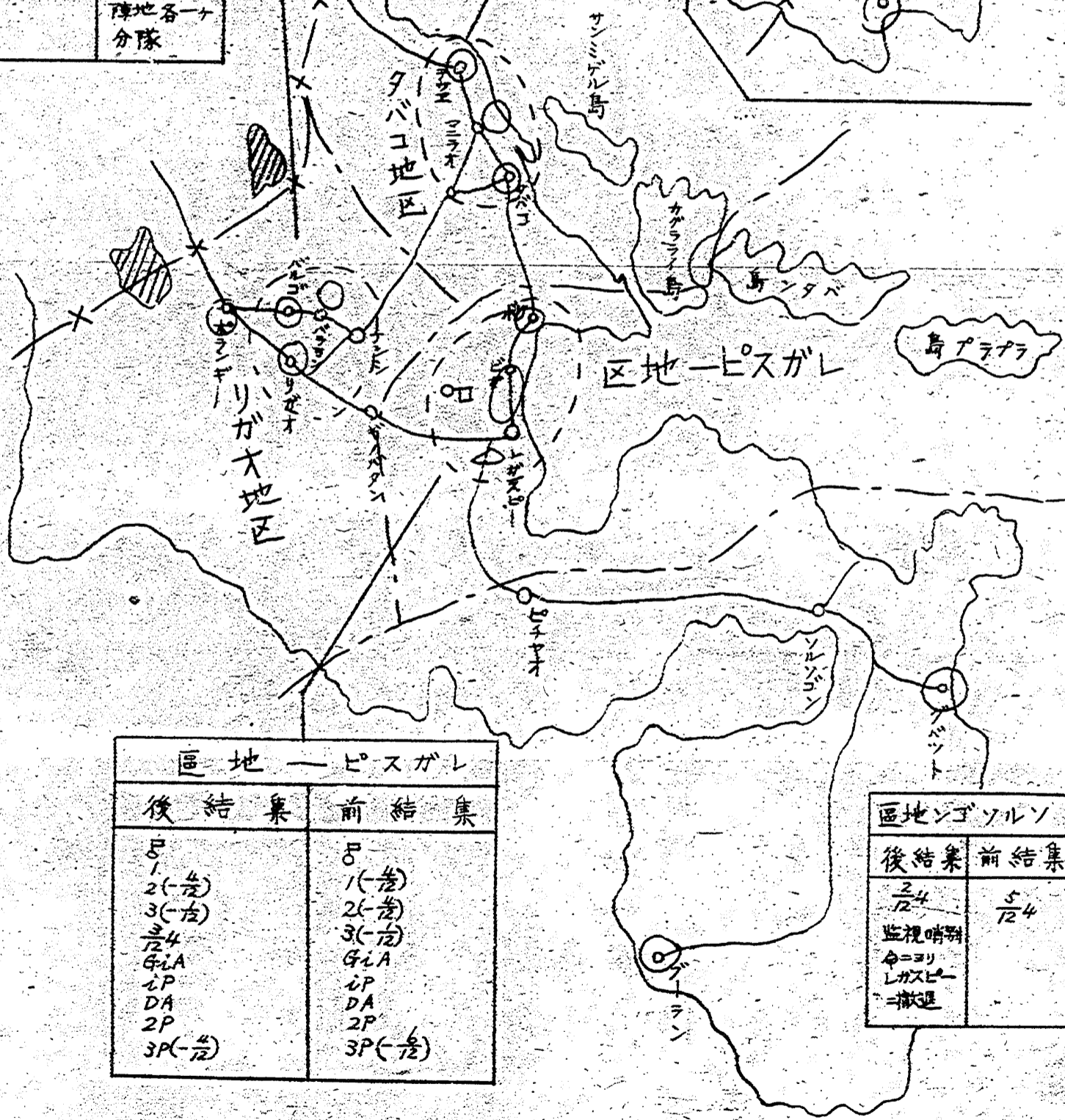
圖要備配礎基力兵
(時斗戰際水)

別紙第一

區地オガリ	
後結果	前結果
各中隊兵器者	(各中隊兵器者)
リガオハルゴ	果成
バラヨン陣地	+1/22
各一ヶ分隊	リガオ オランギ バルゴ バラヨン 陣地各一ヶ 分隊

區地ゴバタ	
後結果	前結果
4(- $\frac{5}{12}$)	4(- $\frac{5}{12}$)
+ $\frac{4}{12}$ 3P	+ $\frac{2}{12}$ 3P

島スナンタカ	
後結果	前結果
$\frac{3}{12}$ 2	



區地ヒスガレ	
後結果	前結果
5	5
1(- $\frac{4}{12}$)	1(- $\frac{4}{12}$)
2(- $\frac{4}{12}$)	2(- $\frac{4}{12}$)
3(- $\frac{4}{12}$)	3(- $\frac{4}{12}$)
$\frac{3}{12}$ 4	4iA
4iA	iP
iP	DA
DA	2P
2P	3P(- $\frac{4}{12}$)
3P(- $\frac{4}{12}$)	

區地ソソルソ	
後結果	前結果
$\frac{2}{12}$ 4	$\frac{5}{12}$ 4
監視哨	
命=ヨリ	
リカスビー	
=撤退	

別紙第二

「レガスピ」地區戰鬪指導要領

第一 方針

一 主力ヲ以テ「レガスピ」北方陣地ヲ一部ヲ以テ同南方高地ノ陣地ヲ占領シ密ニ海軍部隊ト協カシ水際ニ於テ撃滅ス

而テ「レガスピ」北方陣地ニ於ケル配備ハ「レガ」北方地區ニ重兵ヲ置ク

二 此際所要ノ舟艇ヲ準備秘匿位置ニ配置シ之ヲ以テ逆上陸及海上攻撃ヲ敢行シ之ニ密應スル陸上攻撃ト相俟ツテ敵ニ陸上據点ヲ領有スルノ餘裕ナカラシメ之ヲ海中ニ撃破ス

三 特ニ敵ノ上陸第一夜ニ於テ大隊ハ全力ヲ盡シテ連續攻撃ヲ加ヘ敵ノ抵抗意志ヲ消滅セシム

第二 要領

一 基礎配備附圖ノ如シ

海軍部隊ノ配備就中水際ノ配備ハ其ノ兵力ノ整備進捗ニ伴ヒ大隊ノ

配備ト密ニ吻合セシム

ニ敵上陸ヲ確實ニ察知セハ機ヲ失セス左ノ道路ノ橋梁及要部ヲ破壊シ
敵ノ行動ヲ阻止ス

ノ「レガスピ」―「タバコ」―「テウエ」道

ル「レガスピ」附近―海軍擔任

ハ「レガスピ」北方陣地附近

左及中第線中隊ノ境界(含ス)ヨリ以南―工兵第二中隊擔任

同境界(含ム)ヨリカズラワン川橋梁(含ム)迄―工兵第三中隊担任

狀況ニ依リ「タバコ」地區部隊ヲシテ實施セシムルコトアリ

ル「タバコ(バイバイ)」―「ナシ」道―「タバコ」地區部隊担任

ル「レガスピ」―「リガオ」道(含マス)以南各道

特「ソルソゴン」―「カスガ」道
「レガスピ」南方高地部隊

○「モントバリウイ」―「カマリ」道
但シノ印道ハ予メ實施シ他ハ「ソルソゴン」

○「マニ」(及「スロ」)―「アル」道
地區部隊ノ撤退ニ伴ヒ實施ス

0793

三 特ニ準備スル事項

一 肉攻組及分隊

二 斬込隊特ニ敵上陸當初ヨリ敵陸上據点内ニ潜伏シ外方ヨリスル我
斬込隊ニ對シ内方ヨリ策應スル為「潜伏斬込隊」ヲ準備ス

三 舟艇

一 一般機動用

二 逆上陸用

三 偽裝漁船、漁船ヲ裝ヒ敵船ニ接近シ奇襲ス爆薬ヲ装置シタル

漁船ヲ水際ニ置キ之ニ敵舟艇及戰車ヲ襲突セシメ或ハ之ニ肉攻斬

込隊ヲ潜伏セシメ殿リ込マシム

四 各兵種ノ用法

其一 歩兵

(1) 一般歩兵

ノ對戰車戰鬥ノ為特ニ肉攻ニ徹スルト共ニ所安ノ地莫ニ肉攻組ヲ配置ス

2. 者ニ達著ロシ時ニ於テ火力ヲ發揚シ人的損害ヲ與フ特ニ歩戰分離ヲ策ス

3. 果敢執拗ナル奇襲戰ヲ込メ戰法ニ依ル逆襲ヲ行フ之カ爲移動設備外
匍匐ニ徹底シ且多數ノ逆襲據点タルヘキ豫備陣地及中間陣地ヲ設備ス
而シテ各據点ハ敵陸上據点ノ依大ヲ極力妨害スル爲防禦陣地
ニ準シ設備ス

4. 大隊トシテノ主要逆襲方向ハ「エト」ハ「ヨリ」ガ「附近」ヲ經テ東北方
ニ向クモノ及「リボ」西方地區ヨリ東南方ニ向フモノトス

5. 中隊主力ノ據点ハ水際ヨリ概ネ二料ノ線トシ此ノ間ニ縱深アル陣地ヲ
設備シ游擊奇襲戰法ニ依リ執拗果敢ナル反襲ヲ行フ

6. 兩シテ中隊主力ト大隊豫備隊トハ連繫アル據点ヲ構成ス

(ロ) 機関銃

1. 先ツ大部ヲ以テ渚ノ戰鬥ニ任シ一部ヲ以テ渚後方戰鬥ヲ準備ス尔后
主トシテ逆襲及歩戰分離ニ協カス五十米以内ノ外對戰車射撃ヲ行ハス

2. 大部ヲ第一線中隊ニ配屬シ銃宛分置シ林縁ヨリ努メテ内方ニ位

置シ限定セル一方向對シ斜射側射スルト共ニ陣内縱深ニ陣地ヲ設備ス

(ハ)大隊砲及迫撃砲

一重兵中隊方面特ニ渾ノ線ニ主火カラ準備シ準備セル急襲地與ニ對シ短カナル急襲射裏ヲ行ク外陣内縱深ニ陣地ヲ設備シ適時逆襲ニ協カス

襲ニ協カス

2. 銃砲隊長統一指揮ノ下ニ小隊毎ニ戰鬥ス

但シ小隊内各分隊ハ努メテ離隔ス

3. 砲兵ノ火力ノ配置ト密ニ連繫ス

(ニ)作業小隊

一工兵ニ準シ特ニ逆襲ニ協カス

其二砲兵

(1)各種火砲ノ任務

一野山砲――各門毎ニ對敵車射裏ニ徹底ス但シ敵戰車ナキ時ハ舟艇ヲ射裏スルコトアリ

射裏スルコトアリ

2. 二十五耗高射機銃(海軍ヨリ協力)——先ツ渚ノ戰鬥ニ於ケル敵舟艇及

戰車ニ對スル射撃ニ使用シテ後陣内ニ於ケル對戰車射撃ニ任ヌ

3. 噴進彈——渚戰鬥ニ協力

(ロ) 砲兵隊長ハ隸下部隊ノ外水際及陸上戰鬥ニ於ケル海軍側砲兵トノ

連繫統制ニ任ヌ

其三 工兵

ノ主トシテ對戰車戰鬥就中肉攻及障碍物ノ急設攻惠築城(特ニ

逆襲ニ協力スル)ニ任シ所要ニ應シ斬込隊ニ任ヌ

又陣地要部ノ補修砲兵ノ陣地変換ニ協力ス

2. 一部又ハ主力ヲ第一線中隊ニ專任協力セシメ其他ハ全般的任務就

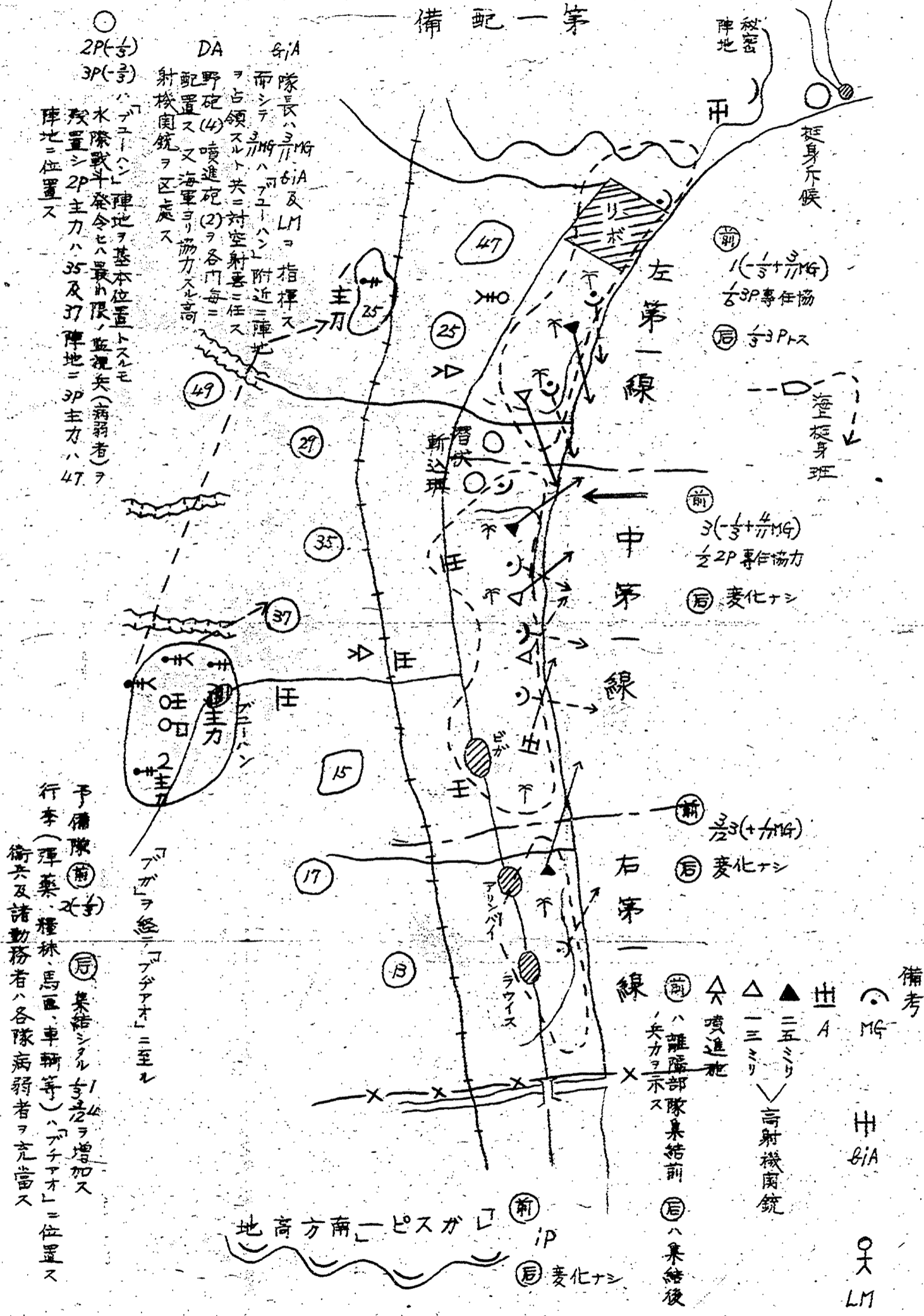
中要莫ニ使用ス

五. 旅團直轄部隊 砲兵ノ一部又ハ臨時速射砲中隊ヲシテ「レガスピ」方面

ノ戰鬥ニ参加セシメラルノコトアリ

ガリス地区基礎配備要図

第一配備



○ 2P(1/2)
 ○ 3P(1/2)
 ○ 陣地ニ位置ス

DA
 野砲(4) 噴進砲(2) 各門毎ニ
 配置ス又海軍ヨリ協力スル高
 射機関銃ヲ区定ス

G/A
 隊長ハMG及LMヲ指揮ス
 而シテMGハアライメント附近ニ陣地
 ヲ占領スルト共ニ対空射撃ニ任ス

予備隊(南) 〇(1/2) 〇(1/2)
 行李(彈藥、糧秣、馬匹、車輛等)ハ「アチアオ」ニ位置ス
 衛兵及諸勤務者ハ各隊病弱者ヲ充當ス

挺身下候
 〇(前) 1(-1/3+1/7)MG
 〇(中) 1/2 3P 専任協
 〇(后) 1/2 3P トス

海軍挺身班

〇(前) 3(-1/3+4/7)MG
 〇(中) 1/2 2P 専任協力
 〇(后) 変化ナシ

〇(前) 3/3(+1/4)MG
 〇(后) 変化ナシ

ガリス南方高地
 〇(前) IP
 〇(后) 変化ナシ

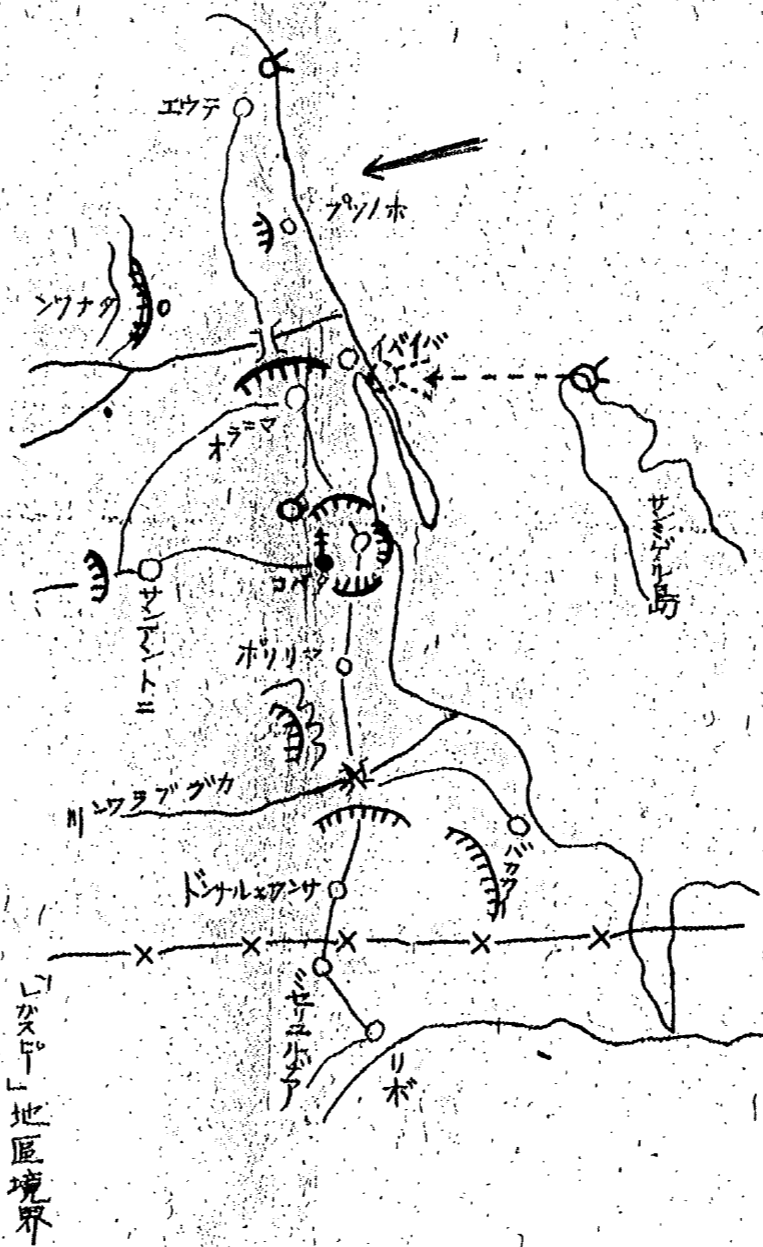
別紙第三

タバコ地区战斗指導要領

要領

一 敵ノ前進ヲ阻止シ密ニ敵ト觸接ヲ保持シ小企圖ノ上陸ノ之ヲ甚破シ之レヲ爲主力ヲ以テマリチオー「タバコ」リボ道方面一部ヲ以テ「テウエ」リ「タナ」ヲ補ヒ積極果敢ニ奇襲反撃ス

二 「タバコ」港ハ成ルヘク永ク之ヲ保持ス已タ得サレ至レハ「タバコ」西南方高地ヲ固守ス

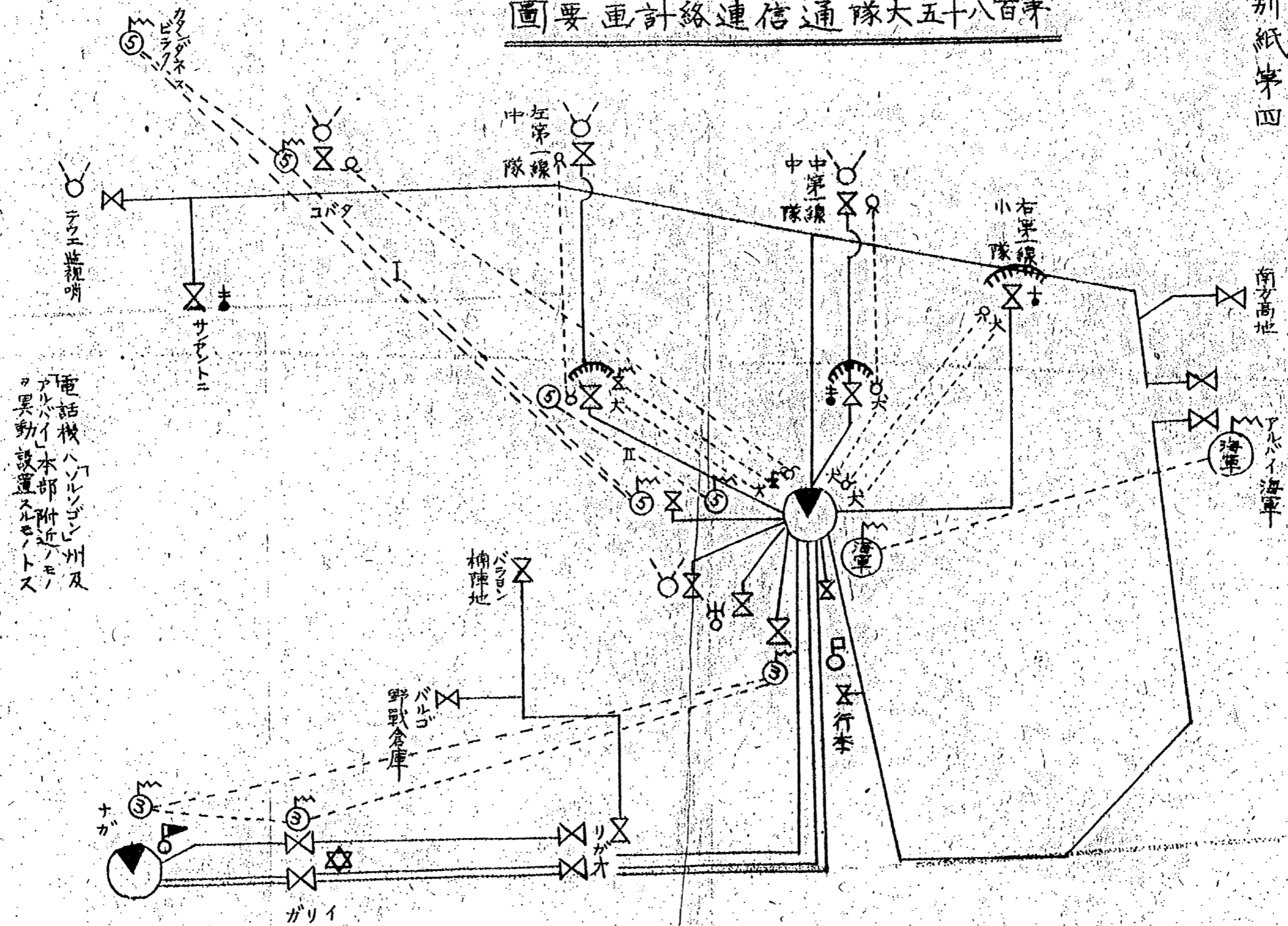


三 「レガスピ」附近ノ戦況之ヲ許ス至ラハ大隊ハ主力又ハ一部ヲ以テ直チニ海岸方面ヨリ北進「タバコ」方面ノ敵ノ根據地ヲ覆滅ス

四 尔後ノ大隊主力ノ行動ニ関シテハ當時ノ情況ニ依リ定ムルモ主力ヲ以テ「レガスピ」附近ニ位置シ敵ノ再舉ヲ備フ

第百八十五大隊通信連絡網計畫要圖

別紙第四



電話機ハソルゴン州及
アムイ本部附近ノモ
コ異動設置スルモトス

0801

陸軍

三 第三小隊小隊長以下二五名、土民一六名ヲ以テ前日ニ引續キ水際戰車障礙物ノ構築

四 旅團長閣下陣地構築ノ狀況視察十四日會報ノ順序

ニ逃視サレニ三〇中隊長ハ各陣地ノ逃視ニ隨行シ九〇歸隊ス

五 谷重曹以下二名ヲ以テレガスピル港ニ於テ前日ニ引續キ掘

開作業

六 橋弁伍長以下二名「カール」ニ於テ作業續行

四 人員 異動ナシ一五六名（出張四名、分遣五名）

レガスピル一五名「カール」ニ二名派遣

五 給 養 前日ニ同シ

六 衛生 患者 練兵休七名、病名未詳一名、右癒



十月十六日
月曜 晴

0802

一 位置

コビガニニ留ル 第二小隊 コブウハニニ留ル

二 命令

塚田 命令第七十七號

工兵第二中隊 日々命令

十月十六日

陸軍兵長

三輪 仁 一

右 十月十七日 間日直勤務ヲ命ス

三 會報

杉山 部隊會報

一 大隊長 明十七日「タバコ」地區築城作業ヲ指導スルニ

付 第二中隊ヨリ一ヶ分隊(長以下七名)機關銃一各人手榴

彈携行)ヲ八時本部前ニ差出シ警乗勤務ニ服務セシムヘシ

二 昨十五日敵機動部隊ノ攻撃ニ任シタル友軍航空機不時

着ノ慮アルヲ以テ各隊ノ情報蒐集ニシトメ不時着機待テ

其塔乘員ノ救助ニ関シ萬遺憾ナキヲ期ラルト共ニ海岸

附近ノ監視所ハ友軍機ノ飛行狀態ヲ監視シテ不時着

機發見ニシトメシムヘシ

0803



四行動

三、地形偵察ノ爲明十七日八時第二中隊ヨリ兵四名ヲ本部
 前ニ差出シ森川中尉ノ指示ヲ受ケシムヘシ
 四、水際戰鬥準備ノ態勢ニテ拘々下駄履ニテ本道ヲ往復
 シ旅團長閣下ヨリ注意ヲ受ケタル兵長アリ如斯ハ皇國危
 急存亡ノ時ナレヲ辨ヘサルモヒンテ將ニ漸死スベキナリ況ヤ
 分隊長タルノ重責ニアルニ於テオヤ
 重營倉七日ニ處ス
 作業開始前二十分間對戰車肉攻ノ教練ヲ實施ス
 中隊ハロハロノ間陣地構築ヲ爲ス
 一、第一小隊小隊長以下一七名ヲ以テ陣地構築ヲ高射機
 砲陣地構築ノタメノ砂利ノ蒐集
 二、第二小隊小隊長以下二名ヲ以テ陣地無線通信所用
 中掩蔽部ノ構築
 三、第三小隊小隊長以下三名土民一人名ヲ以テ陣地トシ

二命令

威勤工作命令甲第四三號

第百五師團工兵隊命令

十月十七日一四〇〇
ナガ

一部隊八師團命令ニ基キ舟艇ノ操作ニ經驗アル下士官

以下九名ヲ「バサカオ」特殊大發動艇隊ニ配屬セントス

二第二第三並第十中隊長ハ左記ニ依リ人員ヲ選定シ

十月二十五日中ニ本部ニ着到セシムヘシ

記

第二中隊

下士官

一

兵三

第三中隊

兵四

第十中隊

兵一

發動艇又ハ船員ノ經驗アルモノ若クハ機關ノ素養アル者ヲ

選定ス

第百五師團工兵隊長 落合大佐

下達法 複寫送付

0806

配布先 2P 3P 10P

報告(通報)先 D(特殊大発動艇隊)

杉作命甲第八八號

獨立歩兵第一八五大隊命令 十月十七日ハニロ
アエツハニロ

一敵機動部隊ハ「サレワ」島(「ロイライ」カマル島南側附近)

ニ侵入シツ、アリ

二大隊ハ直ニ水際戦ヲ準備ラセントス

三各隊ハ工事ヲ中止シ予定ノ計画ニ基キ水際戦ヲ準備ス

備スヘシ

四五兵第三中隊ハ第一中隊方面ニ位置シ、第六中隊

ニ協カスヘシ

五五兵第二中隊坐カハ「ロ」が附近ニ位置シ、主トシテ第三中

隊ニ協カスヘシ

0807

六 移動部隊其他ハ各自分遣隊ノ集結ハ別命アル迄現
狀ノ儘トス

七 小山小隊ハ依然「カスビー」南方高地ノ築城ニ任スヘシ
ハ予ハ「グエウハン」ニ在リ

大隊長 杉山中佐

下達者命令受領者ヲ集メ口達筆記

報告先 818

杉作命甲第八九號

獨立歩兵第一八五大隊命令 十月十七日三〇〇
「グエウハン」

一 各隊ハ本夜二十三時以降何時ニモ水際戰鬥發令時ノ

配備ニ移リ得ル態勢ニ於テ中隊主力ノ位置ニ集結スヘシ

但シ監視哨ハ警戒ヲ一層強化スヘシ

二 明日迄水際戰鬥發令ノ際迫撃砲ノ戰鬥ハ砲兵

隊長之ニ任スヘシ

大隊長

杉山 中佐

下達法 命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム

塚作 命 第四十四號

工兵 第二中隊 命令

十月十七日 八〇八〇

一 敵機動部隊ハロイヲ島東方侵入シツアリ

二 中隊ハ杉作 命 甲 第八八號ニ基テ直チニ作業ヲ中止シ

水際戦斗ヲ準備セントス

三 第一 第三 小隊ハ現作業位置ニテ作業ヲ開始シ得ル

態勢ニテ歩兵 第三中隊ニ協力スベシ 細部ハ別ニ示ス

四 中 小隊ハ「スエウ」ニ於テ歩兵 第三中隊ニ協力スベシ

五 藤井 伍長ハ各小隊ニ戦車爆雷ヲ交付スベシ

六 余ハ「ロ」中隊本部ニ暫時位置シ水際戦斗發令ト

同時「スエウ」ニ復歸ス

中隊長

塚根 中尉

0809

塚作命第四十五號

工兵第三中隊命令

十月十七日一五〇〇

中隊へ威勤工作命甲第四十二號ニ基キ舟艇操作ニ

経験アル下士官以下四名ヲ「ハサカオ」特殊大發動艇隊

ニ配屬セントス

三池澤伍長ハ兵三ヲ指揮シ十月二十五日中ニ「ナガ」工兵

隊本部ニ到着スル如ク最近便ヨリ出發スヘシ

三服装ハ完全軍装トス

中隊長

塚根

中尉

下達法 池澤伍長各小隊命令度領者ヲ集メ口達

報告先

105DP
185160

塚日命第七八號

工兵第三中隊日々命令

十月十七日

陸軍曹長

中田

四郎

0810

陸軍上等兵 小川通夫	同 一等兵 武本順次	右威第七八六三部隊入院中ノ處十月五日治癒退院本十七日歸隊ス	陸軍伍長 井上駒雄	同 上等兵 山崎梅吉	同 一等兵 山田久之	同 尾川正一	同 今田信夫	同 斧田富夫	同 野村 弘	右ノ者本十七日兵器被服糧秣受領ノ爲六泊七日ノ予定ヲ以テコナガレ上兵隊本部ニ出張ヲ命ス	三會報 杉山部隊會報
------------	------------	-------------------------------	-----------	------------	------------	--------	--------	--------	--------	--	---------------

0811

一本十七日各隊（作業小隊歩兵第三中隊ヲ除ク）ハ左ノ如ク水際戦ヲ準備スヘシ

歩兵中隊銃砲隊ハ基礎配置ニ於ケル第一線小隊補修

工兵中隊ハ第一線歩兵中隊ノ要求ニ應ジテ所要ノ援助ヲ爲ス

外計画ニ基キテ對戰車戦ヲ準備スヘシ

砲兵隊ハ基礎配置ノ態勢ヲ以テ何時ニテモ戦ヲ開始

シ得ル準備ヲ整ヘ其ノ他ハ予定ニ基キ築城ヲ續行スヘシ

二歩兵第二中隊及作業小隊ハ現任務ヲ續行スヘシ

杉山部隊會報

一本十七日「ロガスピ」附近ニ於ケル陸海軍對空射撃ニ於ケル戦果左ノ如シ

撃墜 一四 不確實 三 計 一七

一作業開始前三十分間對戰車肉攻教練ヲ實施ス

二〇八二〇水際戦ヲ準備シ發令アリ各小隊ハ作業ヲ中止シ

四行 動

水際戰鬥準備ヲ整ヘ待機シ對戰爆雷ノ梱包 臭火裝 置揚行器具ノ準備	三 第一小隊小隊長以下一七名ヲ以テ一二〇〇―一七三〇ノ間ノ所 目ニ引續キ砂利ノ蒐集	四 第二小隊小隊長以下一三名ヲ以テ一七三〇―二〇〇〇ノ間ノ陣 地無線通信所用申掩蔽部ノ構築 午後戰鬥配置一部 ハ宿舎ニ於テ待機ス	五 第三小隊小隊長以下一三名 土民二名ヲ以テ二〇〇―一七三〇 ノ間前日ニ引續キ戰車壕ノ構築	六 谷軍曹以下一五名ハ敵機未襲ノヲノ工事實施不能防 空壕構築ニ任ス	七 横井伍長以下二名「カール」ニ於テ作業續行	八 井上伍長以下七名事務連絡並ニ十五纏榴霰彈領ノタ メヲ加シ工兵隊本部ニ二二〇〇出發ス
-------------------------------------	--	--	--	--------------------------------------	------------------------	--

九 藤井伍長がイナイトニ依ル戦車地雷ハ作製ヲ研究ス

衝撃ニヨル雷管ノ点火不成功ナリ

五人 員 異動ナシ一五大名(出張二名 欠遣五名)

コガスピーレニ五名 コーランレニ二名 派遣

六 給 養 前日ニ同シ

七 衛 生 患者 練兵休 四名 急性咽喉炎一名 治療

八 其 他 午前中コガスピーレ附近ニ敵機延機数約四十五機来襲シ

空襲表セリ中隊ニ損害ナシ主トシテコロガスピーレ飛行場ヲ

爆撃セリ



コガニ留ル 第二小隊ヲユウハンニ留ル

十月十八日 水曜日 雨

一位 置

二 命 令 杉作 命 甲 第九 号

獨立歩兵第一八五大隊命令

十月十八日ニシヨ
フスエウハンレ

一、敵ハ比島ニ上陸ヲ開始セリ

二、大隊ハ本月二十五日迄ニ海岸陣地構築ヲ完了セントス

三、各隊ハ不眠不休不撓不屈益々烈々ノ鬪魂ヲ發揮シ

本日ヨリ二十五日迄ニ海岸陣地構築ヲ完了スヘシ

皇國危急存亡ノ秋ナリ苟モ一刻一兵一指ト雖モ倦怠

弛緩アルヲ許サス

四、「ガバウト」「ソルソゴン」「バチャオ」分遣隊ハ敵西南方海岸ヨ

リ上陸スル場合ヲ考慮シ其ノ他ニ各々ニテ中隊分陣

地ヲ構築スヘシ 細部ハ別ニ示ス

五、余ハ「フエウハン」ニ在リ一時「ソルソゴン」「タバコ」方面ニ前進ス

大隊長 杉山中 佐ハ

下達法各隊長ヲ集メテ口達筆記セシム

塚日命第七九號